

## 主要業績一覧

2011年2月7日現在

### 著書

- 1 (共著)「イスラームの啓示観—ファフルッディーン・ラーズィーの啓示(ワフイ)観—」(市川裕・鎌田繁編)『聖典と人間』大明堂、1998年(187-205頁)
- 2『聖典「クルアーン」の思想—イスラームの世界観』講談社(現代新書)、2004年
- 3『図説コーランの世界—写本の歴史と美のすべて』河出書房新社(ふくろうの本)、2005年
- 4『イスラームにおける運命と啓示—クルアーン解釈書に見られる「天の書」概念をめぐって』晃洋書房、2009年

### 翻訳

- 1 ミカエル・クック著『コーラン』岩波書店(〈1冊でわかる〉シリーズ)、2005年

### 論文

- 1 「イスティアーズの祈禱句に見られるクルアーンの受容に関して」『オリエント』1997年、40-1: 90-105
- 2 「クルアーンの啓示(インザール)理論の形成」『イスラム世界』2002年、59: 1-22
- 3 「『書かれたもの(キターブ)』と運命論—クルアーン、『天の書板』、『記録の書』—」『オリエント』2002年、45-1: 142-158
- 4 「イスラームの動物観—クルアーン(コーラン)の句を中心に」『動物観研究』2004年、9: 3-8
- 5 「イスラーム教徒の聖典観—現代の若者たちにとっての『クルアーン(コーラン)』」2007年、『国際学研究』31: 33-54
- 6 「アミーナ・ワドゥードのクルアーン(コーラン)解釈方法論—ファズルル・ラフマーン理論の継承と発展—」2009年、『国際学研究』35: 35-52

### その他

- 1 辞典項目「安息日」「エデンの園」「十戒」「昇天」「メシア」など計39項目、『岩波イスラーム辞典』(大塚和夫他編、岩波書店、2002年)
- 2 学界動向「クルアーン学会の誕生～The Qur'an—Text, Translation and Interpretation 学会報告～」『イスラム世界』2002年、58: 111-115
- 3 エッセイ「イスラームと『書くこと』、そして書物」2002年、『ほん』講談社、316: 52-54
- 4 書評「リチャード・ベル『コーラン入門』」2004年、『イスラム世界』62: 88-91
- 5 エッセイ「イスラームの根源にあるもの」2004年、『読書のいづみ』全国大学生生活共同組合連合会、99: 26-28
- 6 エッセイ「イスラーム教では犬のことをどう見ているか」『愛犬の友』誠文堂新光社、2005年、649: 74-76
- 7 対談「異文化理解」『天王寺「学びのもり」から』新風書房、2006年(63-112頁)
- 8 辞典項目「人生論の名著を読む『コーラン』」『現代倫理学事典』弘文堂、2006年(312-13)

頁)

- 9 書評「牧野信也『イスラームの根源をさぐる 現実世界のより深い理解のために』」2007年、『イスラム世界』68: 94-97
- 10 辞典項目「ベル『コーラン』」『宗教学文献事典』弘文堂、2007年(347頁)
- 11 エッセイ「母国を離れたイスラーム教徒たち」『さん・サン』明治学院大学保証人会、2008年、64: 4-5
- 12 研究メモ「ウズベキスタンのウスマーン写本—『世界最古』のクルアーン(コーラン)写本—」2010年、『国際学研究』37:87-93
- 13 *The Qur'ān: the Voice of Islam* by Yasushi Kosugi (Tokyo: Iwanami Shoten, 2009) [in Japanese], *Journal of Annals of Japan Association for Middle East Studies* 26(2010): 185-189 [in English].